

# グローバルヘルスが日本を救う

---

渋谷 健司（東京大学大学院医学系研究科 国際保健政策学 教授）

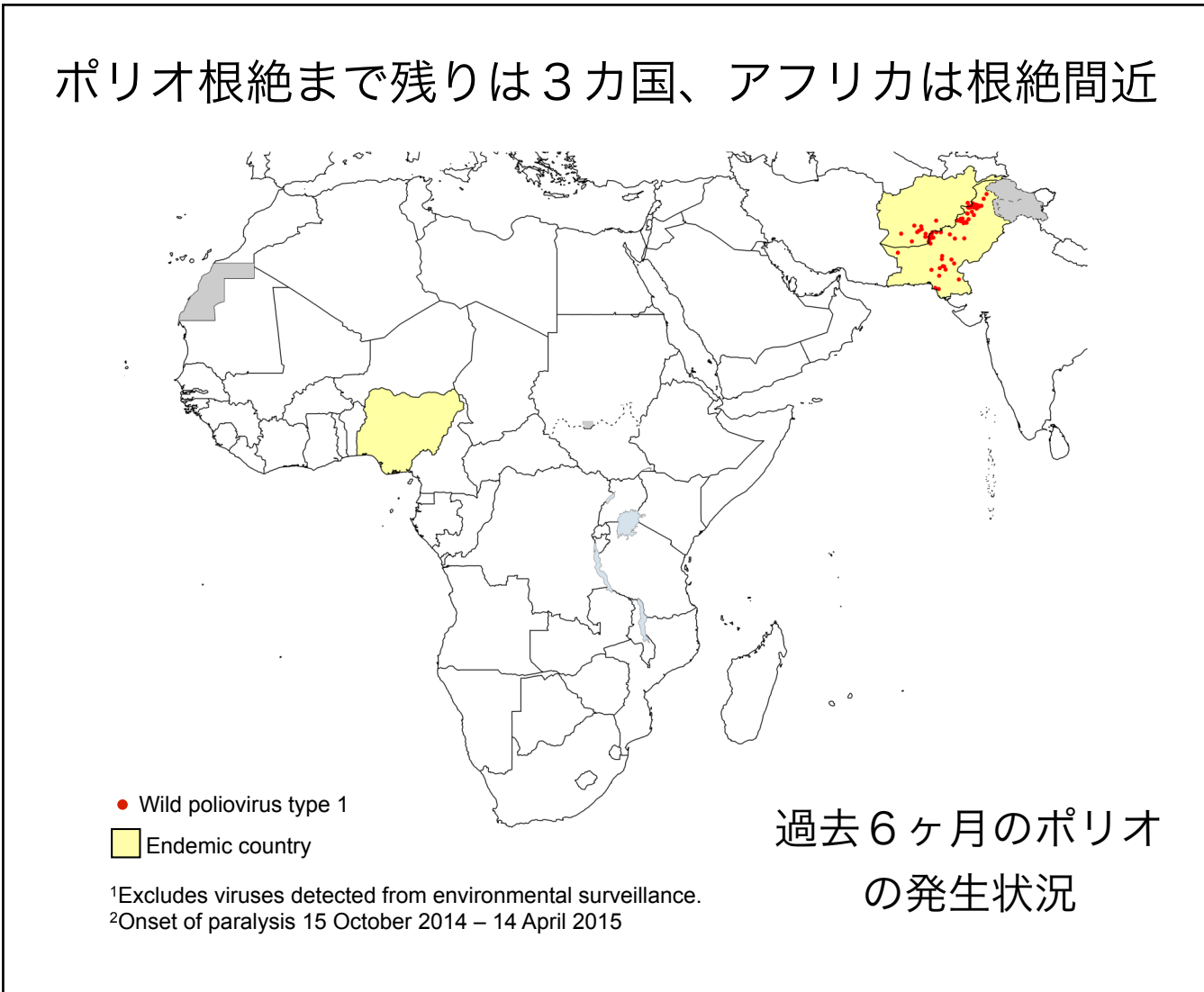
# 日本の貢献は、海外では非常に高く評価されている

日本の貢献が非常に高く評価されている分野：グローバルヘルス（世界エイズ・結核・マラリア対策基金、世界ポリオ根絶イニシアチブ、ワクチン（GAVI））と農業支援

**日本がより強く  
なるために**  
スマート・エイズで世界の信頼を  
ビル・ゲイツ

「日本は、世界のエイズ対策に重要な役割を果たしている。特に、先進国の中で最も早くエイズ対策に取り組んだ国である。日本は、世界のエイズ対策に重要な役割を果たしている。特に、先進国の中で最も早くエイズ対策に取り組んだ国である。」

「日本は、世界のエイズ対策に重要な役割を果たしている。特に、先進国の中で最も早くエイズ対策に取り組んだ国である。日本は、世界のエイズ対策に重要な役割を果たしている。特に、先進国の中で最も早くエイズ対策に取り組んだ国である。」



# 多数が保健医療の恩恵を受けるシステム（UHC）が主なアジェンダに

1. 感染症から生活習慣病対策（NCD）へ
2. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）
  - 基本的な保健サービスをできるだけ多くの人に普及
  - 経済リスクからの保護と公平性・持続可能性
3. 日本の過去50年間の経験と知識を生かせる時代の到来

世界の疾病および危険因子による負担 (2010年)

順位	死亡	死亡と障害 (DALYs)	
		疾病	危険因子
1	虚血性心疾患	虚血性心疾患	食品
2	脳卒中	肺炎	高血圧
3	COPD	脳卒中	喫煙
4	肺炎	下痢性疾患	屋内空気汚染
5	肺がん	HIV/AIDS	飲酒
6	HIV/AIDS	マラリア	肥満
7	下痢性疾患	腰痛	高血糖
8	交通事故	未熟児合併症	栄養失調
9	糖尿病	COPD	大気汚染
10	結核	交通事故	運動不足

出典：Institute for Health Metrics and Evaluation [www.healthdata.org/gbd](http://www.healthdata.org/gbd)

ランセット誌日本特集号（2011年）



- 「日本の保健医療システムは、日本国民のみならず、世界の人々の健康のバロメーターであるという点でも、きわめて重要である。」
- 「日本は大変なソフトパワーを持っている。世界における確固たる地位を確保する努力と国内での政策を改善する力を発揮しようとしている。」

(ランセット編集長 リチャード・ホートン)

# 安倍総理のランセット誌への寄稿（2013年）

「我が国の国際保健外交戦略-なぜ今重要か-」

- 「21世紀は、20世紀型のハードなパワーを背景にした政治力学を動かす力とともに、国際社会の共通問題を解決していく指導力が重要。スマートパワーの時代とも呼ばれる。日本はそれにふさわしい力と意志を持っている。」
- 「国際保健の現状を前に、そしてポスト 2015 の開発課題の議論が本格化するにあたり、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を目指すことが必要である。」
- 「我が国は、責任ある成熟国家として、自らの経験に基づき国際社会が抱える課題解決に貢献する用意がある。国際保健外交はまさしく、我々のビジョンと意志を実現するための重要な戦略である。」



# グローバルヘルスを開発戦略、安全保障戦略及び成長戦略の一環として多くの国が活用

グローバルヘルスは医療の将来

## 保健医療の3つのD

## 目的

- |                       |   |           |
|-----------------------|---|-----------|
| 1. Delivery (供給)      |   | 1. 開発援助   |
| 2. Development (製品開発) | X | 2. 成長戦略   |
| 3. Discovery (発見)     |   | 3. 国家安全保障 |

### 保健医療の開発援助全体に占める割合 (2013年)

国名	%
米国	26.4
英国	20.0
カナダ	16.5
仏	6.8
独	6.1
<b>日本</b>	<b>2.3</b>
OECD 平均	11.5

### 医薬品アクセス貢献度ランキング (2012年)

順位	メーカー	スコア
1	GSK (英国)	3.8
2	ジョンソン & ジョンソン (米国)	3.6
3	サノフィ (フランス)	3.2
4	メルク (米国)	3.1
17	ベーリンガーインゲルハイム (ドイツ)	1.5
18	武田薬品 (日本)	1.1
19	第一三共 (日本)	0.9
20	アステラス製薬 (日本)	0.9

- グローバルヘルスは、グローバリゼーションの一つの形態。国際化するものを明確化し、逆に、自国のアイデンティティを深く考えることが重要。
- 多くの人々が社会開発・経済成長の恩恵を受ける保健医療システム整備 (UHC) が、グローバルヘルスの中心課題に。
- 我が国の保健医療システムの再検討と強化、つまり、「保健医療2035」自体が、グローバルヘルスに直結。
- 日本には、世界に発信できる価値基盤が既にある。グローバルヘルスは、わが国の保健医療に寄与し、国際的にも日本の名誉ある地位の向上に大きく貢献。

# 次世代型の保健医療人材育成

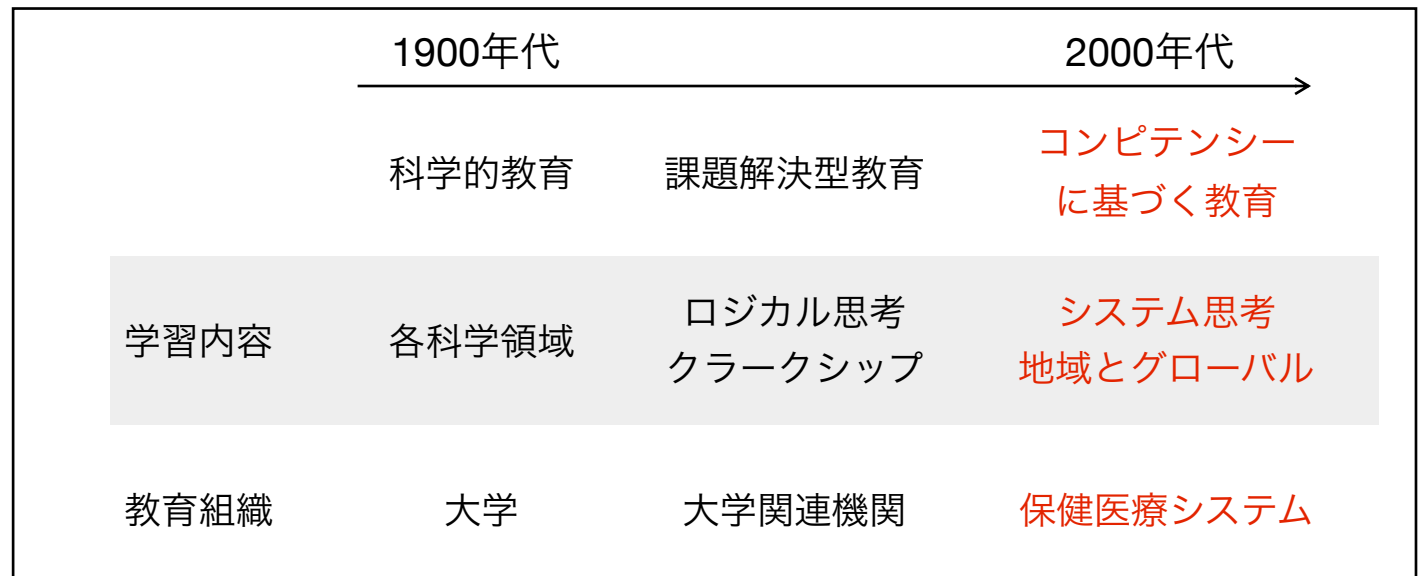
## アジア大学ランキング 2014~15年

順位	大学 (国)	スコア
1	東京大学 (日本)	76.4
2	シンガポール国立大学 (シンガポール)	72.4
3	香港大学 (香港)	65.3
4	ソウル国立大学 (韓国)	65.2
5	北京大学 (中国)	65.0
6	清華大学 (中国)	63.5
7	京都大学 (日本)	63.2
8	韓国科学技術院 (韓国)	62.9

出典: Times Higher Education



出典: Duke-NUS <https://www.duke-nus.edu.sg>



出典: Frenk J, Chen L, et al. Lancet 2011